

議事概要

件名	長崎市中心部の交通結節等検討会議（第2回）
日時	令和2年2月19日（水）15:00～17:00
場所	長崎県農協会館7階702～704会議室
協議者	各委員（別紙参照）

《主な質疑》

【議事1 検討会議（第1回）について】

●全委員

- ・特に意見無し

【議事2 長崎駅周辺の交通結節にかかる検討について】

●委員A

- ・デッキ案をお勧めしたい。

（理由）・平面横断が歩行者にとって信号に間に合うのかという精神的なものがある

- ・デッキ案なら動く歩道も整備でき歩行者にやさしい

- ・にぎわいという点でも、駅側と大黒町側相互の連携をもって面的なにぎわいの創出ができるのでは

- ・デッキ下にバスベイを再整備でき、利便性向上を図れる

●委員B

- ・デッキは国道を渡ったところまでで終了すべき。

（理由）・デッキが駅広東西軸の上にかぶさるとその橋脚などで歩行者動線をつぶす

- ・これまで整理してきた駅広の基本コンセプトにもとづく景観を無駄にする

- ・今計画を進めている駅周辺のプラン（土地区画整理事業など）でまずはできあがるということは今一度確認したい。

○事務局

- ・デッキ案が採用になりましたら、実施段階において歩行者動線との調整を図ります。

- ・今の計画で一度はできあがり、バスの引き込みや電停部のエレベーター設置などによるバリアフリー対応が何年か続いたのち、今回の会議で議論しております対策をなるべく早い時期に実現したいと考えております。

●委員C

- ・路面電車がある町のまちづくりは路面電車を活かして行われ、一次交通との結節で路面電車を引き込むことが主流。ただ、今回の場合は評価等を勘案するとデッキ案で落ち着くのかなということで社内的には話がまとまった。

- ・デッキも未来永劫のものではないということを考えると、いずれ改修なりがでてくるため、そのときにでも今一度サイドリザーベーションを含む案を検討してもらいたい。

○事務局

- ・現時点では難しいですが、将来交通量の転換、低減ということが実現しましたら、サイドリザーベーションの実現も可能性が出てくると考えており、将来の課題として残しておこうと考えています。

●委員D

- ・大きな目を見たときに大黒町側とのにぎわいをつなげていくことも必要と思うが、多目的広場などとのデザイン的な調整をしてもらいたい。

○事務局

- ・デザイン調整会議の中で、詳細に検討し調整を図ってまいります。

●委員E

- ・開業した時は交通会館はそのまま残っていくのか。土地区画整理事業で計画されてきたターミナルは一旦中止されるということで理解して良いか。

○事務局

- ・デッキ案が採用された場合には白紙に戻すということになります。

●委員E

- ・ということは、人口減少の中で、交流人口を増やさなければならないという課題があるが、現状の計画のままではお客さんにかなりストレスをかけることになる。その対応をどうするのかというのは示していただきたい。

○事務局

- ・県と市で当面の対策について交通事業者の皆様とも話をさせていただきながら検討を進めておりますので、第3回の会議の際にはその内容をご紹介したい。

●委員F

- ・R4以降の全体スケジュールを提示してほしい。

○事務局

- ・次回会議でお示ししたい。

●委員G

- ・デッキ案は景観上の評価が◎となっているが、圧迫感や暗さを考えると見直すべきでは。
- ・コストがイニシャルコストのみだが維持管理コストも考慮すべきでは。
- ・トータル的に考えた場合はデッキ案が有利といえると思う。

○事務局

- ・下部空間が閉塞感などを感じさせないように例えばデッキに開口部を設けたり、照明施設を整備することで対応する必要があります。また、一方で、デッキやバスターミナルを作り直すことで周りの景観になじむようなものを作ることも可能であることから、ミニバイパス案と比べると少し優れることから、◎と○の差をつけさせていただいた。
- ・維持管理費を加味すると、さらに2案の差が開くことになるので、文章表現を加えるなどによって、対応します。

【議事3 松が枝地区の交通結節にかかる検討について】

●委員C

- ・評価はこれで良いかと思う。
- ・軌道新設案は良いと考えている。新地中華街の分岐は、今でさえ交通支障もあり、そこに合わせて信号制御となると、今以上の輻輳が考えられる。
- ・新しい路線を設けるとなれば輸送力は当然上がるが、終点の単線があるということになれば、そこでボトルネックが生じてしまう。複線なり、延伸なりを同時に進行する必要がある。
- ・事業者としては既存の系統に固執することなく、新たな系統というのも柔軟に検討したい。

○事務局

- ・軌道新設案が望ましいというのはありつつも、実施上の課題が大きいため、当面は分岐施設案で対応でと考えています。

●委員C

- ・将来の軌道新設が前提で分岐新設ということであれば、それは検討の余地があると思う。

【議事4 今後の進め方について】

○事務局

- ・駅と長崎港ターミナルの結節や新たな結節点の詳細な検討は本会議ではなく、別途また検討をおこなっていききたい。

- ・次回幹事会までに街頭でのアンケートなどをおこなうことで、県民や市民の皆様の意見を聞く機会を設けます。

- ・その後、基本計画案をとりまとめます。

●委員H

- ・駅と長崎港ターミナルの結節は重要であることから、議論したこと、長期的な課題であるということが何らか残るようにしてほしい。

○事務局

- ・将来的な課題として検討していくことはきちんとお示しした方がよいと思っています。

●委員F

- ・長崎駅周辺の対応策でデッキ案とミニバイパス案に共通する課題として交通量があるが、その検討はどのような形で進めていく予定か。

○事務局

- ・浦上川線への交通転換はどちらの案にしても必ず取り組む必要があると思っています。そのためハード的対応、あるいはソフト的対応でどういったことができるのか詳細に検討し、関係機関と協議しながら実現に向けて来年度以降進めていきたい。

●委員F

- ・今後さらに交通量が増える可能性もあるため、スピード感をもって検討された方がよい。

○事務局

- ・承知しました。